

SGHクラブ研究班(中学)

ジャクサ

JAXA(宇宙航空研究機構)と協同研究!

「宇宙実験教育プログラム」の開発!



本校生2名が昨春参加した「種子島スペーススクール2016」を主催した**JAXA**(宇宙航空研究機構)から、本校に新しい「**宇宙実験教育プログラム**」開発のための協力依頼がありました。本来は、高校生のためのプログラム開発なのですが、本校では**中学3年生**がその依頼を受けて立つことになりました。このプログラムのパイロット版に取り組む中学生は、日本で本校のみです。このプロジェクトに挑戦するため、多数の希望者の中から選抜された**7名**に意気込みを語ってもらいました。

チーム名：SVM-107、チームリーダー：^{えぐちもも}江口萌々さん(中3-3)

- ・2002年、スペースシャトル・コロンビア号は当時の高校生との協同研究の結果を持ち帰る途中、空中で分解し大爆発を起こしました。7名の搭乗員は死亡し、人々の心に深く刻まれた悲しい出来事でした。私たちは15年の時を経て、彼らがなしえなかった研究を受け継ぎました。コロンビア号の搭乗員と同じ7名のメンバーで、このプログラムに取り組みます。初めて聞く言葉や慣れない実験器具、答えのない実験のため、不安もありますが、責任感を持って取り組みたいです。(3-3 松澤あさひさん)
- ・私たち7名は、佐高や附属中だけでなく、コロンビア号の事故で亡くなった7名やプロジェクトに参加した当時の日本全国の高校生、そしてJAXAの名前を背負っています。こうしたプロジェクトの一端を担うことを光栄に思います。(3-3 江口萌々さん)
- ・これまでの15年間の思いを受け止め、できることを精一杯やりたいと思います。(3-3 三木悠史くん)
- ・実験の手順書を見ると、難しい言葉などがたくさんありますが、わからないことは一つ一つ調べて、実験を成功させたいです。(3-1 兵藤遊馬くん)
- ・自分の興味からJAXAの実験に挑戦しました。理科の実験では使わないような難しい言葉が並んでいますが、将来に生かせる研究成果を出すために私たちは頑張ります。(3-1 中務翼くん)
- ・しっかりと実験を行い、誰が見ても納得できるような良い研究結果が出せるように頑張っています。(3-1 渡来遊夢くん)
- ・私たちは今、理科の授業で宇宙のことを学んでいます。自分の知らない世界を知ること、次第に宇宙に興味を持つようになりました。そんな中、このような実験に参加することができ、とても光栄に思います。(3-1 須藤聖奈くん)